

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	道路事業				
地区名	一般県道花沢桑原線 <small>はなざわくわばら</small> （南工区）				
事業箇所	豊田市長沢町 <small>ながさわちょう</small> 地内				
事業のあらまし	<p>一般県道花沢桑原線は、岡崎市北部と豊田市の下山地区を結ぶ延長 13.7km の路線であり、三河山間地域の暮らしを支える重要な路線である。</p> <p>当該事業区間は、路線バスルートになっているものの、線形不良により見通しが悪く、狭隘区間であるため、車両のすれ違いが困難であり、山間地域における拠点間の移動や、日常生活の移動の妨げとなっている。また、歩道が設置されていないことから、歩行者を含めた交通安全の面でも課題となっている。</p> <p>このため、自動車すれ違い困難区間における自動車の安全性・走行性向上を主な目的として、一般県道花沢桑原線のバイパスを整備するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 山間・離島対策（自動車すれ違い困難区間における自動車の安全性・走行性向上）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2017 年度)	再評価時 (2021 年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2017 年度 ～2020 年度	2017 年度 ～2024 年度	用地交渉の難航	
	事業費（億円）	7.0	7.0		
	経費内訳	工事費	6.0	6.0	
		用補費	0.5	0.5	
その他		0.5	0.5		
事業内容	バイパス整備 延長 0.6km 幅員 10.0m 2 車線	バイパス整備 延長 0.6km 幅員 10.0m 2 車線			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・線形が不良で見通しが悪く、隘路区間で車両のすれ違いが困難であることから、日常生活の移動の妨げとなっているため、円滑な交通の確保が必要である。 ・歩道が設置されておらず、歩行者の安全確保の観点からも歩道整備が必要である。 <p>【再評価時の状況】</p> <p>事前評価時と大きな変動はなく、依然として事業の必要性がある。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・依然として、狭隘区間が存在し、円滑な自動車交通に支障をきたしており、主要な生活道路として、安全性の向上が必要な状況は変わっていない。 			
	判定	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p>		

		<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車すれ違い困難区間における自動車の安全性・走行性向上の観点から、事業の必要性に大きな変化がないため。 																																																																																																														
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2017~2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">工 種 区 分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="6">/</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・土工</td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・擁壁工</td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・舗装工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費 (億円)</td> <td>前回計画</td> <td>7.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>3.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td>3.0</td> <td></td> <td>4.0</td> <td></td> <td></td> <td>7.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.6</td> <td>0.0</td> <td>0</td> <td>0.6</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>7.0</td> <td>3.0</td> <td>43</td> <td>7.0</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>6.0</td> <td>2.3</td> <td>38</td> <td>6.0</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>0.5</td> <td>0.4</td> <td>80</td> <td>0.5</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.5</td> <td>0.3</td> <td>60</td> <td>0.5</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地進捗率(面積ベース)は、約74%</p>			2017~2020	2021	2022	2023	2024	合計	工 種 区 分	調査・設計	←	→				/	用地補償	←	→				工事		←	→			・土工		←	→			・擁壁工		←	→			・舗装工					←	→	事業費 (億円)	前回計画	7.0					7.0	実績	3.0					3.0	今回計画	3.0		4.0			7.0		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	0.6	0.0	0	0.6	0	事業費(億円)	7.0	3.0	43	7.0	43	工事費	6.0	2.3	38	6.0	38	用補費	0.5	0.4	80	0.5	80	その他	0.5	0.3	60	0.5	60
			2017~2020	2021	2022	2023	2024	合計																																																																																																								
	工 種 区 分	調査・設計	←	→				/																																																																																																								
		用地補償	←	→																																																																																																												
工事			←	→																																																																																																												
・土工			←	→																																																																																																												
・擁壁工			←	→																																																																																																												
・舗装工						←	→																																																																																																									
事業費 (億円)	前回計画	7.0					7.0																																																																																																									
	実績	3.0					3.0																																																																																																									
	今回計画	3.0		4.0			7.0																																																																																																									
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																												
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																																																																											
延長(km)	0.6	0.0	0	0.6	0																																																																																																											
事業費(億円)	7.0	3.0	43	7.0	43																																																																																																											
工事費	6.0	2.3	38	6.0	38																																																																																																											
用補費	0.5	0.4	80	0.5	80																																																																																																											
その他	0.5	0.3	60	0.5	60																																																																																																											
2) 未着手又は長期化の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・用地交渉が難航したため、完了予定年度を2024年度に変更する。 																																																																																																															
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地交渉の難航 <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地交渉が難航している箇所については、所定の手続きを踏むことによって取得できる見通しがあり、2024年度までに整備が完了する予定である。 																																																																																																															
判定	<p>B</p> <p>A：事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 																																																																																																															

		C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。
		【理由】 ・阻害要因については、所定の手続きを踏むことによって解決できる見通しがあり、2024年度までに整備完了が見込まれるため。
Ⅲ 対応方針（案）		
継続		中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。
Ⅳ 再評価実施の有無と主な評価内容		
■対象（事業完了後5年目） □対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 ・交通の安全性・円滑性の改善状況		